

当てはまるところに
を付けましょう。

1 (又は2年)年 組 番 氏名 ()

1 振り返ってみましょう。

各項目について具体的な場面・行動を挙げながら振り返らせましょう。

		当てはまる の 項目	やや当て はまる 項目	あまり 当ては まる ない 項目	当ては まる ない 項目
自己理解 能力	自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。				
コミュニケーション 能力	多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る。				
情報収集・ 探索能力	卒業後の進路や職業・産業の動向について多面的に情報を収集し検討する。				
職業理解 能力	多様な勤労観・職業観を理解し、勤労・職業に対する理解・認識を深める。				
役割把握・ 認識能力	個人的・社会的役割や責任を理解し、役割を果たす。				
計画実行 能力	職業についての総合的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する。				
選択能力	自己の意志と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する。				
課題解決 能力	進路希望の実現を目指して、課題を設定し、その解決に取り組む。				

2 考えてみましょう。

1年間の振り返りから思ったこと、考えたことを書かせましょう。
各教科・科目等、特別活動の学習内容に応じて項目を変更するなどして、生徒の取組みを深めるものにしていきましょう。

あなたは、自分にはどのような能力や適性があると考えていますか。(自己理解の深化と自己受容について)

自己理解の深化と自己受容について考えさせるための項目です。生徒が思いつかないようであれば、進路適性検査の結果(例)等を参考にさせながら考えていること、感じていることなど書かせましょう。

あなたは、将来どのような職業に就きたいと考えていますか。その理由とともに書きましょう。(選択基準としての勤労観・職業観の確立について)

具体的な職業をあげて、自分の適性や能力とのかかわりから書かせましょう。

あなたは、学校・社会の中で自分にはどのような役割があると考えますか。また、学校、社会に対してどのような貢献ができると思いますか。(将来設計の立案と社会的移行の準備について)

学校・社会において自分の果すべき役割を自覚させ、学校内の役割や地域におけるボランティア等、積極的に役割を果たすことについて考えさせましょう。

あなたは、将来の進路を実現するためにどのような学習や活動を行っていますか。(進路の現実吟味と試行的参加について)

将来希望する職業やそれを達成するため、実際に行動に移せることなどを書かせましょう。

3 現在の進路希望

・()年：希望する進路 就職(), 進学(大学 学部 学科, 専門学校)

4 先生等からのアドバイス

先生から

生徒の長所、得意なこと、頑張っていたことなどを認める肯定的な内容やさらに取り組んだらよい内容など総合的な所見を記述しましょう。
(保護者や事業所等でお世話になった方にいただいたことばなどもあれば記述)

()から

これまでの学習について書きましょう。

例)

職業調べについて

学習内容に応じて項目を変更するなどしましょう。

職業見学・職業体験・インターンシップ等について

期日 月 日 () 教科等 () 場所 ()

・学んだこと

体験の中から、学んだことや考えたことを書かせましょう。
(何のために働くのか、仕事の社会的役割や意義、自分にふさわしい仕事や生き方など)

・考えたこと

・指導・助言を受けたことや心に残った言葉